

# 浮世絵めりえ にチャレンジ!



2020年8月  
『夏休み工作キット』  
発行：大津市歴史博物館

## どんな絵なの？

この絵は歌川広重が描いた「近江八景」のひとつ「矢橋帰帆」。夕暮れ時、大津から矢橋港（草津市）へと帰港する帆船の群れが描かれているんだよ。むかしくし矢橋は、対岸にある石場（大津市）とを結ぶ渡し船の発着港として栄えたんだ。渡し船は湖上を横断し、石場⇄矢橋港を最短でつなぐルートだったんだ。唐橋を渡る陸路ルートより約4kmも距離が短いから、旅人たちは近道をしたんだね。

それに渡し船は、旅人が身近に体験できた琵琶湖の船旅としても人気だったんだって！



歌川広重「魚栄版 近江八景」矢橋帰帆 安政四年（一八五七） 本館蔵

## あのこさわぎの舞台！

東海道を行く人たちが、琵琶湖を東西に渡るには二つのルートがあったんだ。ひとつは、渡し船で琵琶湖を横切る「湖上ルート」もうひとつは、唐橋まで遠回りする「陸路ルート」だよ。

湖上ルートの方が近道だけど、突風が吹く日は船が大きく流されて、かえって陸路ルートよりも遅くなっちゃったんだ…。これが「急がば回れ」ということわざの語源になったんだってさ。



一、浮世絵とは？  
浮世絵は江戸時代の前期にできた絵画のジャンルだよ。描かれるテーマは暮らし、流行などで、白黒の墨絵から始まったんだ。のちに彩色がされるようになってカラフルになっていったんだよ。

一、歌川広重はどんな人？  
歌川広重は江戸時代に活躍した浮世絵師だよ。日本の名所やきれいな風景を描く名所絵が有名で、広重の作品は日本だけでなく、海外でも人気だったんだ。ゴッホやモネといった画家達にも影響を与えるくらいすごい人なんだ。

## 近江八景って？

近江八景とは、「近江国（現在の滋賀県）の美しい風景八選」を表す言葉だよ。もとは中国で詩や水墨画のテーマとして有名な「瀟湘八景」が十四世紀ごろに日本に伝わって、それから、琵琶湖と周りの風景を瀟湘八景になぞらえた作品が生まれたんだ。

現在の組み合わせは、近衛信伊（一五六五～一六一四）が膳所城からの眺めをもとに選定したと伝えられているよ。後に和歌や俳句、絵画がたくさん作られて、名所としても有名になったんだ。また、近江八景ならではの特長として、風景ごとの季節が設定されているんだ。

近江八景一覧	
秋	石山秋月
春・秋	瀬田夕照
春	粟津晴嵐
夏	矢橋帰帆
春・秋	三井晩鐘
夏	唐崎夜雨
秋・冬	堅田落雁
冬・春	比良暮雪

※表の順番は南から北

めりえができたら、ツイッターに  
#遊ぼう大津れきはく  
のハッシュタグをつけて  
ぜひ投稿してね！

